

蕪島のみどころ

蕪嶋神社

蕪島休憩所に面した丘の上には、鎌倉時代（1185-1333）に創建された蕪嶋神社があります。この神社は、1296 年に弁財天を祀って建立されました。弁財天は仏教と神道の両方で財運、商売繁盛、五穀豊穡、旅の安全、知恵、芸術、音楽の守護神として信仰されています。蕪嶋神社に安置されている弁財天の像は、8 本の腕に弓・刀・斧・羅索・矢・杵・矛・宝珠を持っています。像の頭上の鳥居と子宝を司る男神は、この弁財天が縁結び、良縁、安産の女神として崇拝されていることを表しています。

歴史的に、蕪嶋神社は八戸藩の庇護を受けており、藩主は健康な後継ぎが生まれることを祈願してこの神社に参拝しました。漁師は安全な航海と豊漁、商人は財運と商売繁盛を祈願しました。現代の参拝者も幸運と商売繁盛を願いますが、おそらくその理由の一部には、蕪島の「蕪」と株式の「株」が同音異義語だということがあるでしょう。

2015 年に社殿が全焼する前、蕪嶋神社の天井には、蕪島に生息し、神の使いとされるウミネコを描いた 56 枚の天井画が飾られていました。神社は 5 年の歳月をかけて再建され、資金の一部は地元住民と参拝者からの寄付金で賄われました。ウミネコの繁殖活動の妨げにならないよう、工事はウミネコが蕪島から離れている期間中のみ行われました。

再建された蕪嶋神社は、近代的な外観の木造 2 階建ての建物です。吹き抜けの天井には、伝統的な楽器を持った天女がウミネコと一緒に空を舞う様子が彫刻されています。幣殿の天井には、弁財天の使いである龍が白波から現れるダイナミックな中国風の絵が描かれています。

祭り

蕪島では年間を通して蕪嶋まつりとさめ浜まつりという 2 つの大きな祭りが行われます。

蕪嶋まつりは、ウミネコの繁殖期中である 4 月の第 3 週末に行われます。この祭りでは、ウミネコの装飾をあしらった神輿を運ぶ行列が蕪嶋神社の階段を下ります。また、伝統的な音楽や芸能が舞台上で披露されます。

さめ浜まつりは 7 月の第 4 日曜日に行われます。この日の神輿行列は神社から近くの浜に向かい、この浜では神輿を水に沈める儀式が行われます。この祭りでも、舞台上でさまざまな演目が披露されます。

付近のスポット

八戸市水産科学館（マリエント）

八戸市水産科学館（マリエント）は、近海の美しさと八戸の漁業の重要性を紹介しています。ここでは、大型水槽の中の海の生物を間近に見ることができ、また、海と地球科学に関するインタラクティブ展示やこの地域の海洋生物について幅広い知識が得られる展示が行われています。館内には新鮮な魚介類が食べられるレストランと、八戸港を一望できる展望ホールもあります。

蕪島海水浴場

この砂浜は蕪島の魅力のひとつです。例年 7 月中旬から 8 月中旬までの海水浴シーズンには、この浜は穏やかな波と温かい海水を楽しむ家族連れで賑わいます。シャワーと更衣室が利用できます。

西宮神社

恵比寿浜漁港の近くにあるこの小さな神社には、「八戸太郎」と呼ばれる風変わりなクジラの形の石があります。伝承によると、ある時八戸の海に一匹のクジラが現れ、それにともなって獲りきれないほど大量の魚が獲れるようになりました。地元の人々はこのクジラを守り神と信じ、親しみをこめて八戸太郎と名づけました。ある時クジラはしばらく姿を消し、戻ってきた時には身体に銚子を打ち込まれて致命傷を負っていました。クジラが死ぬと、その姿は石に代わりました。西宮神社に置かれている石は、この石であると言われています。